

国労水戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 塚原良雄
編集責任者 坂下 司

非正規労働者過去最高40%超える

労働者の総団結で 議論する場を作ろう

毎年春闘時期に行われている労働講座ですが、今年度は春闘前に行うことになり、各地区にて秋の労働講座が、土浦地区は10月14日、水戸地区は10月24日に開催されました。

土浦地区では、柏原孝行さんを講師に迎え「労働組合とは何か」と題して講演を行って頂きました。

今の社会の仕組みは

国会周辺で繰り広げている平和安全法制や、資源確保のための公有権を巡っての紛争は、アジア近辺でも起きています。

国内では大手スーパーや

家電量販店など、自分の所だけ良ければ良いと低価格競争を行った結果、相次いで閉店に追い込まれています。紛争に関しても自分の所だけ安全であればの優先的な考えではテロと報復の繰り返しで紛争は無くなりません。

非正規化の増大

それでも「年功序列・終

2015年度
年末手当
3.18カ月の
回答

身雇用制
の見直し
で非正規
労働者は
年々増大

しています。労働者派遣法、労働法制の規制緩和により、非正規労働者は低賃金で働いています。

正規労働者もコスト削減、労働強化で働き続けられない職場実態です。

働き続ける条件

労働者として働き続けるために、毎日きちんとした生活、次の世代を維持する、社会的・文化的水準を維持するなどができなければ社会も存続出来なくなります。どのような働き方をしているのか。

賃金だけでなく、労働強化によっても人件費の削減に結びつきます。一労組の運動では限界にきている。労働者総体で団結していく事が必要です。

各分会で全体集会開催

11月14日、いわき地区分会全体集会が開催されました。組織運動・組織拡大運動を具体的に、問題・不安等を労働者の声働く者同士の会話を意識し、組織運動の強化を日々意識していただきたいと分会委員長挨拶がありました。

福島県議選候補の鈴木利之さん、いわき市会議員の狩野光昭さんから原発や基地問題、労働法、TPP等

の歯止めをどうつくるか、

組合員からは、会社が「原ノ町地区の希望」を具体的に訪ねて、来年の七月ごろに移動があるのではないかと噂もあります。駅の委託化が進んでいる。自分のいる駅も噂がされている。これは自分にとって何ともいえず不安な材料になっている。

駅採用で来る若い人たちは、二年で乗務員というスタイルが暗黙のルールのように存在している。職場に新規採用で来ても、若い人が増えていかなないと意見もありました。

